

人と人をつなぐ伊野のまちづくり



出雲市伊野地区自治協会
伊野やって未来こい！ネット
2022,10,18

伊野のまちづくり キーワード

つながる

持ち味に出番

まちづくり
エネルギー

住民参加

伊野ってどこ？どんなところ？

宍道湖から日本海へぬける

宍道湖



里山



日本海



島根半島中央部 出雲市と松江市の境目
宍道湖から日本海へつきぬける地形

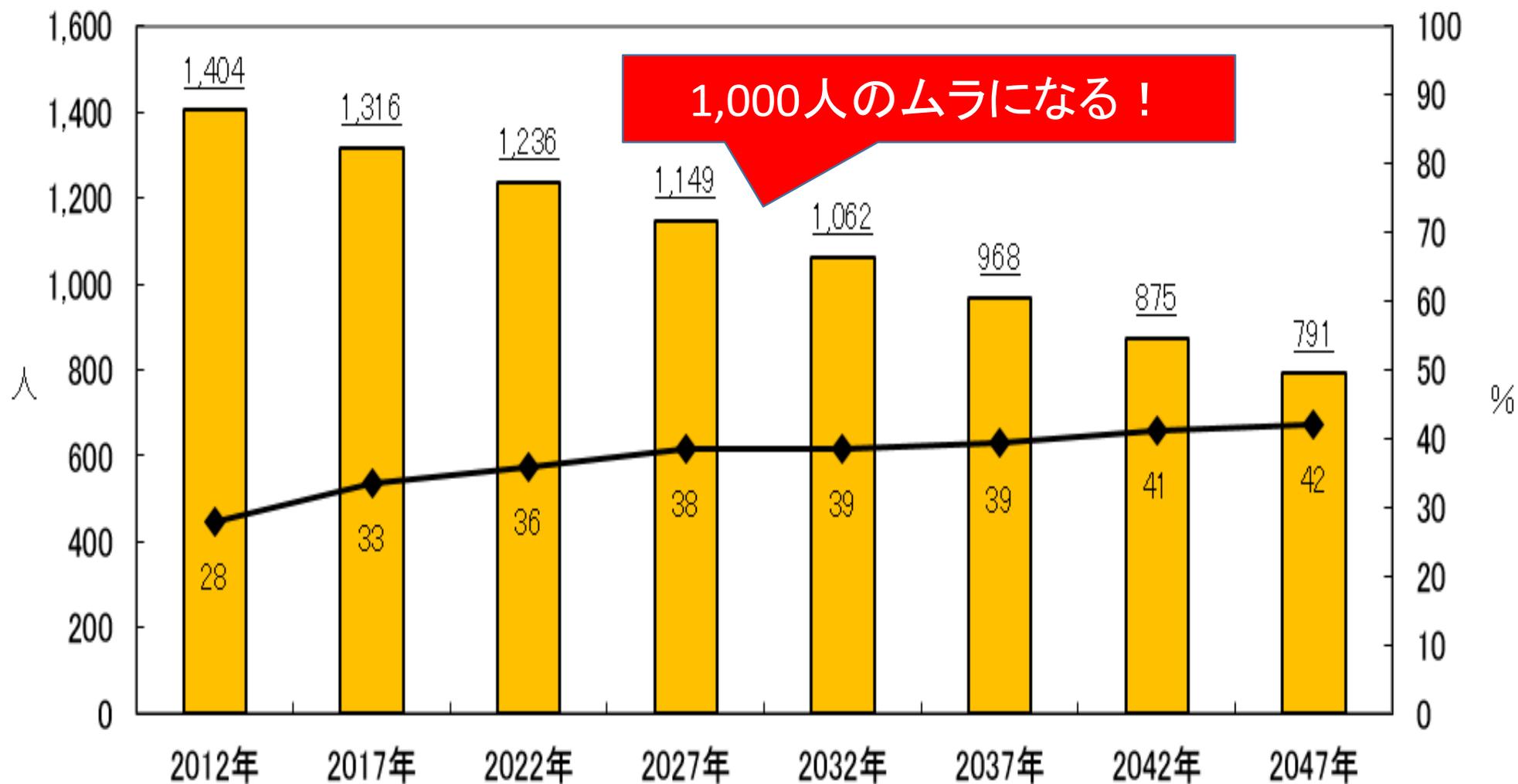
人口が減り続けている 現在1200人余 2030年は1,000人の村？

伊野地区将来人口予測

将来人口予測(現行モデル)

人口

高齢化率



まちづくりの引き金は・・・

地域の学校が無くなる？ 2012年

出雲市が大規模学校再編を提案
伊野小がなくなる！？



学校再編検討委員会設置

- 2015年5月 単独存続決定
- 2015年6月 地域・学校連絡会議設置

小さな学校の
大きな魅力を

伊野ベージョン提案

島大教育学部山形祐貴さん、青木紳次さん、日下真夕子さんから
「自然を舞台に子どもの遊びをつくりたい！」と提案

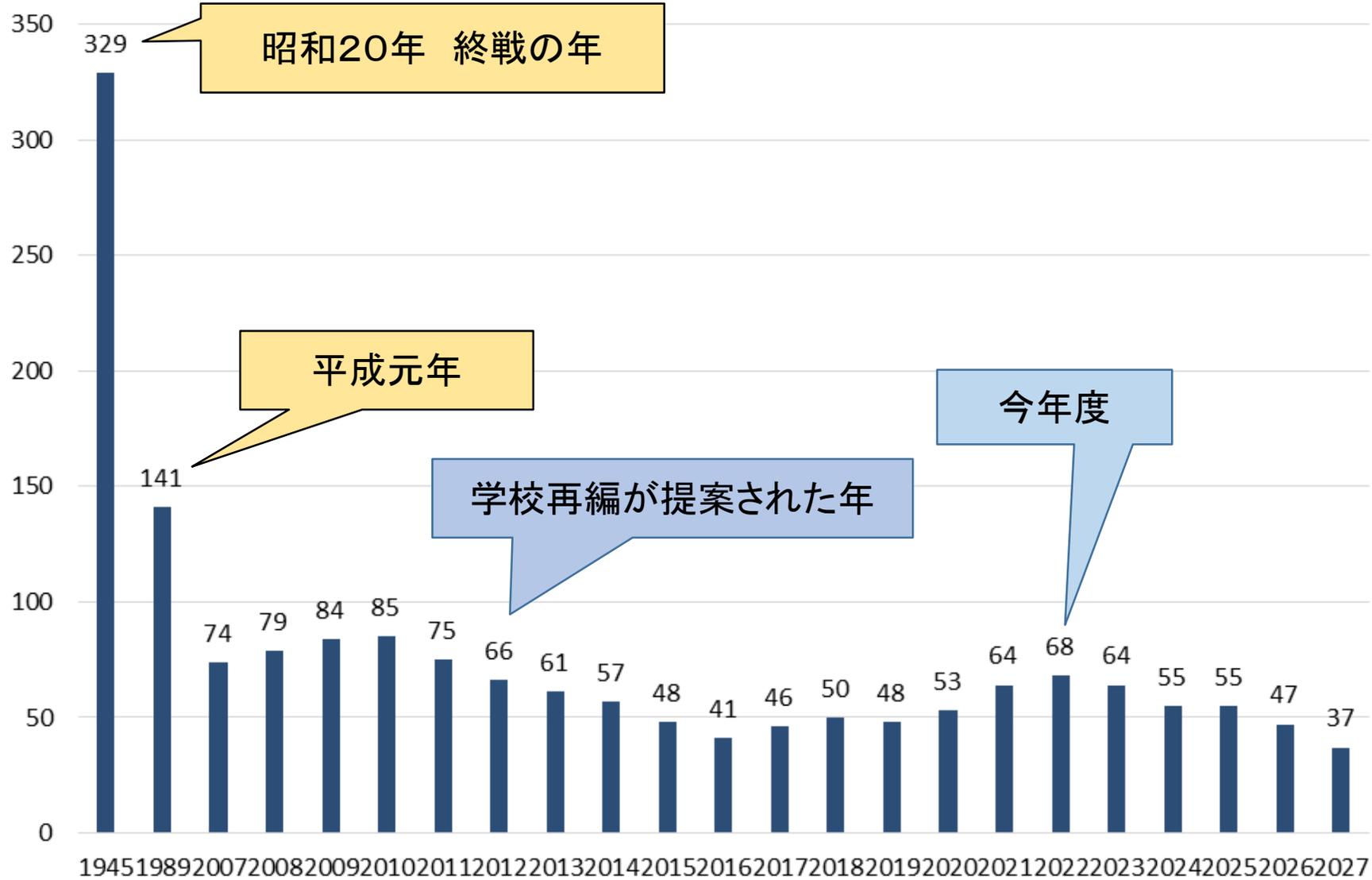
準備活動開始

- 小学校との懇談
- 地域住民への説明 & 懇親会



出雲市の海岸部の学校はすべて消える！

伊野小児童数の変化



生まれてくる子どももの数が
どんどん減っている
伊野小の児童数もこれから
減っていく

小規模校の困難は地域の支援で克服

- 財政支援・・・教育後援会費(自治協会から45万円) + ふるさと会員の寄付
- 労力支援・・・校庭草刈ボランティア プール清掃 プール監視 花壇整備
- 人材支援・・・読み語りボランティア(毎週木曜日朝) 放課後学習支援ボランティア
- 学習支援・・・ミシン指導 宍道湖や日本海での学習支援 その他地域学習講師



学校と地域がつながる

小学校の困りごと支援
プール清掃は高齢者クラブ

修学旅行経費
大規模校より
7千円割高

ふるさと会員の教育費支援

地区外居住の
伊野出身者

伊野在住の方

ご寄付

伊野まちづくり応援

伊野出身でない
伊野応援団

返礼品: シジミ サザエ 新米 茶

- 伊野小学校支援
修学旅行費助成
卒業アルバム助成
- まちづくり事業



小さな学校・地域の大きな魅力をつくる 子育てするなら伊野だよね

- 伊野ベーション・・・伊野の自然を舞台にワクワクドキドキの遊びをつくる
- 国際ワークキャンプ・・・act localy,think globaly 視野に世界に
- 町の幸福論を考える・・・山崎亮さんの出前授業
- 体験的で深い学び・・・伊野いち参加 宍道湖や日本海での地域学習等

伊野ベーション開始
島根大学教育学部とつながる



森

秘密基地

2013,6,16

田んぼ

ワクワク ドキドキ ギャー！ (2013,8,17)



いかだでございませ！



夏は、飯南町赤名小の子どもたちを迎える
冬は、伊野小の子どもたちが飯南町のスキー場で赤名小の子どもたちと再会

スキー・雪あそび体験教室

飯南町とつながる

冬は飯南町で
スキー交流



国際ワークキャンプ 多文化共生のまちづくり×教育



小さな学校だけど
世界とつながってる

里山を楽しむ いの〜びりトレイルラン

スポーツで
つながる

りんご山で遊ぼう！

森林整備×スポーツ



2018トレイルラン

伊野の資源 × 教育 → ふるさとカルタ

小学生も先生も地域住民も みんなで作ったカルタ

伊野ふるさとかるた



カルタ大会準備は中高生で

農業の危機打開 家庭菜園の余り物で伊野いち

- 後継者がいない
- 耕作放棄地が増える
- 棚田の草刈が重労働
- シカやイノシシなど有害獣の被害が広がっている

家庭菜園の余り物おすそ分け

伊野いちで地域を元気に



無料「おもてなしコーナー」 お客様とつながる

新米の塩おにぎり
シジミ汁
漬物
は～！生きかえる～

この漬物おいしい！
どうやってつくるの？



農業と教育がつながる

小学生が「伊野いち」CMソング作成



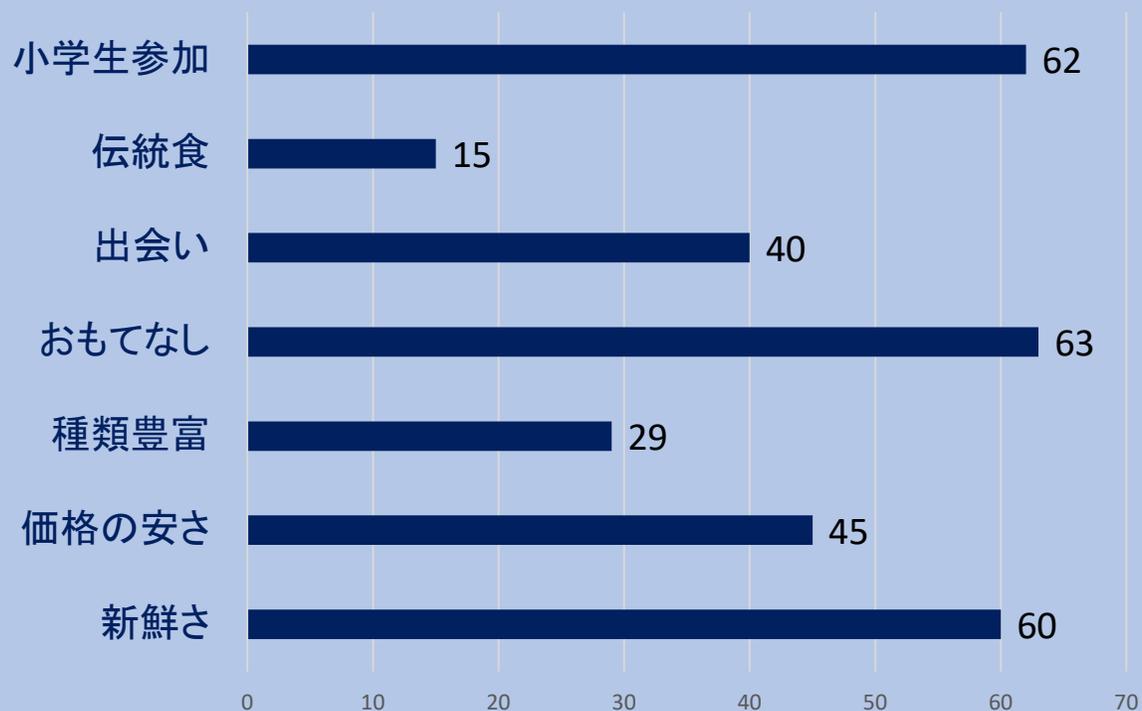
「伊野いちの歌」を披露する小学生

「対話的で深い学び」
地域密着だからできる

伊野いちの3大魅力



伊野いちの魅力(お客様アンケート)



- 1 小学生参加の魅力
働いている姿に感動！
- 2 商品の魅力
新鮮！安い！めずらしいものがある！
- 3 おもてなしコーナー
幸せな気持ちになる

まち・ムラを変えるためには(1)

できるところから始める→地温を上げる

伊野のチャレンジ

伊野ベーション

伊野いち

原子力災害 避難先との交流

国際ワークキャンプ

森の整備 トレーラン

ふるさとカルタ

ムラを変えるエネルギー

- エネルギーは人と人の間に生まれる
温度は分子(人)と分子(人)のぶつかり
合いで生まれる。
- ムラを変えるためには地域の温度を上げ
ることが必要。地域の温度(地温)が上が
ると、こんなことをしてみたいという種が
発芽しやすくなる

まち・ムラを変えるためには(2)
大きな舞台をつくる

舞いを舞う人(プレイヤー)も増やしたい 演出家も増やしたい 裏方も増やしたい 観客も増やしたい

一人ひとりが持っている力を持ち寄る

持ち味に出番を

スーパーマンはいらない 小さな仕事・日常がつながって意味をつくること

おばあちゃんの出番だよ！

幻のチマキを復活
させよう！

伊野いちの目玉
商品に

この中に、笹や葉っぱで
包んだチマキが10個入っ
ている



チマキを茅で編みこむ

島根大学留学生が障子張り体験 2021年



空き家の障子張り
高齢者の出番

外国からのお客さまに浴衣を着せたい！ 着付けならまかせて



着物好きな人の出番

シニアのスマホ教室(2022) 先生は中高大学生

学生の持ち味に
出番



90代男性がラインに挑戦

今いるところからつながる



住民の生活を考えた品ぞろえ お客様の話を聴く

光丸商店

- 未来こい！ ネット通信をお客さまに渡して話題にします。
- 「通信を宅急便に入れて送ってあげて」と声かけします。
- 困っている方には商品を届けます。

まち・ムラを変えるために(3) 情報共有と話し合い

情報収集
情報共有
情報発信

- ムラで何が始まっているか？知らない人が多い。
- 情報共有の方法を考えよう。
- ムラの将来を語る広場をつくろう。



伊野では

- 自治協会ホームページ
- 地域の未来を考える動画
- 集落ごとにまちづくりトーク
- 全体でまちづくりフォーラム

まちの将来を考える動画作成

集落(町内会)や各種団体等で上映



言葉を発する

弱さでつながる

吹き出る声・声

- 小規模校に不安
- 遅くまで子どもを預かってもらえる体制を
- 役職が多すぎる
- 高齢者には町内の草刈等が苦痛
- 若い者が住すみやい町に
- 若い人の本音を聞いてほしい
- 将来の買い物が不安
- 息子の結婚が心配

声を出そう 受け止めてくれる人がいる



第1回まちづくりフォーラム(7月28日)

トーキング・グループ、ワーキング・グループをつくらう

長期的展望に立った「持続可能なコミュニティ」づくり



2019年 伊野の未来を創る戦略会議(7部会 80余名)



2020年
まちづくり推進組織「伊野やって未来こい！ネット」結成
「やって未来こい！ ENO暮らし2030」



10年後の
伊野ビジョン



伊野の将来ビジョンをつくる 戦略会議

2019年発足 メンバー80人

60歳以下がほとんど

教育部会

福祉・医療・暮らし部会

農業・水産部会

安全・安心部会

交流部会

情報部会

学生部会

持続可能な伊野 将来ビジョンのスローガン

やって未来こい！
ENO暮らし2030

ビジョン実現組織

伊野
やって未来こい！
ネット

E・・・笑顔 Enjoy

N・・・のんびり New

O・・・おたがいさま Original

2030・・・

2030年に関係人口を含めた
2030人の新しいコミュニティー

未来こい！ ネットが発足してからの活動

2020年～

定期販売の直売所オープン

国道431沿い

2020
年



よっ得? ! 伊野いち 毎週金土開催

大人の隠れ家 地域内外の交流拠点づくり

空き家活用
プロジェクト
スタート
(2020)

空き家の残置物片付け



自然ゆたかなところだから、子どもが自然に飛びこむ？
そんなにあまくはありません。おとなの働きかけがないと…



空き家活用

竹で箸や器を作る
作った器でそうめんランチ！

ロケットストーブ作り(2021)
子どもも大人も遊ぼう

遊び

遊びでつながる



家庭にこれがあれば...

まち・ムラを変えるために(5) 関係人口を増やす

- 人口減少で縮むコミュニティ
昔のままを維持することはできない
- 幸福度の高い新しいムラをつくるために地区
外の関係人口との協働が必要
- 遠くの関係人口・近くの関係人口、それぞれが
伊野との関わりを楽しめるように
- ローカルとリージョナルとグローバル。ムラと近
隣地域、県内・県外の地域、外国の地域が重
なる重層的なコミュニティー

<伊野の挑戦>

- 伊野いち(2014)
- 伊野ふるさと会員
- 伊野いちファン交流会(2017)
- よっ得?!伊野いち(2020)
- しば作り教室(2022)
- 空き家活用(2020)
- プログラミング教室(2021)
- 島大国際センターとコラボ(2021)
- 石灯笼(2022)
- 耕作放棄地復活プロジェクト(2021)
- シニアのスマホ教室(2022)

伊野いち お客様から関係人口へ

- アンケートでお客様のニーズ把握
- 電話やメールでご案内

- おもてなしコーナー
- 伊野いちファン交流会

伊野のまちづくりへの
理解と共感

まちづくり×学校
伊野小5・6年生の参加



関係人口

地区外の出店者

醤油屋 仏具店 本屋 うどん屋
たこ焼き クッキー 干物屋 パン屋
豆腐屋 その他

伊野いちの魅力(単位:人)



幻のちまき「しば作り教室」2022,6,26



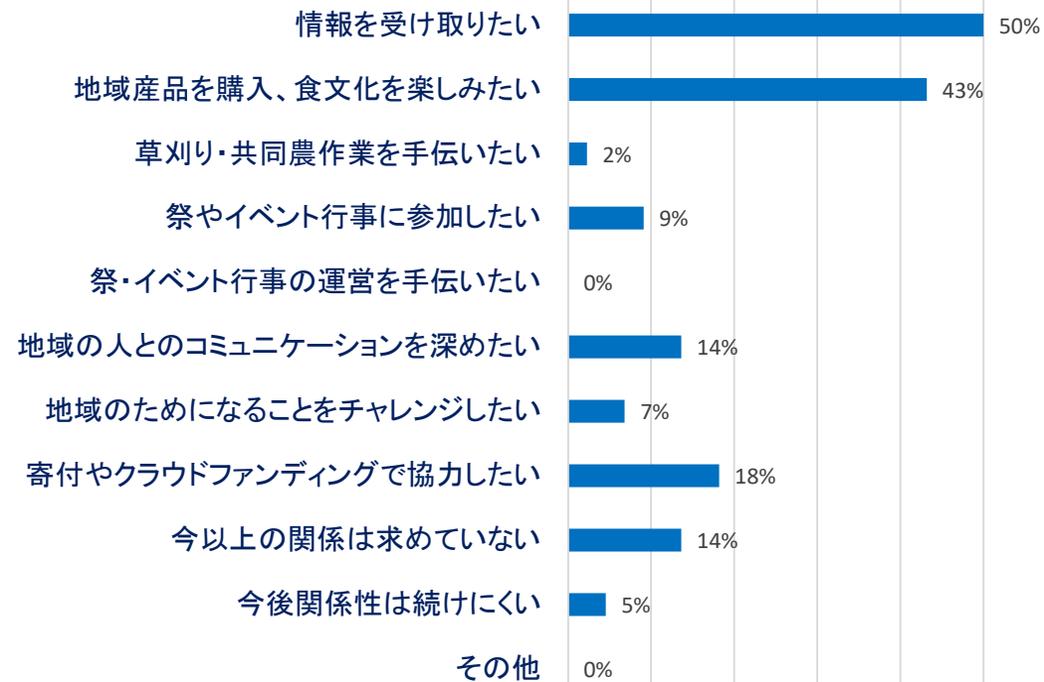
伊野いちのお客さまを私たちが
の仲間にする。
食文化を通してつながる。

ふるさと会員 今後、どんな関係を望むか

伊野出身でない人の方が前のめり？

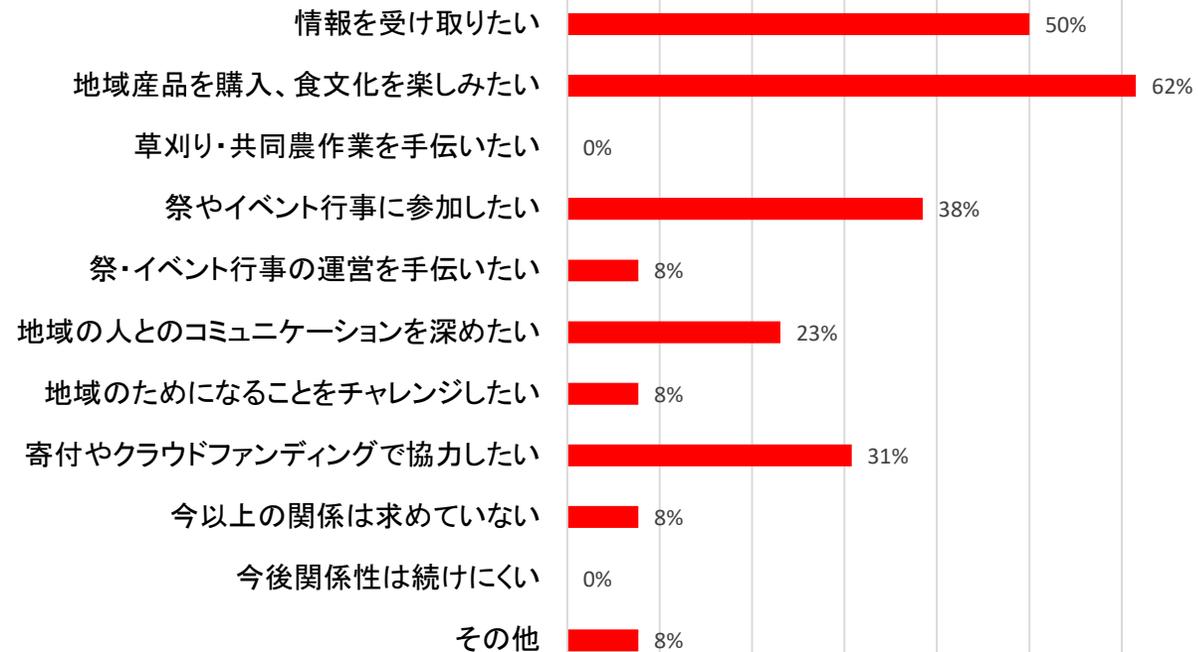
伊野出身者

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%



伊野の出身ではない人

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%



広島モリメイト倶楽部等 地区外から12名参加



ソバの収穫

耕作放棄地復活プロジェクト
ソバ栽培(2021)

そば打ち道場 関係人口拡大





空き家交流から生まれる関係人口

プログラミング教室開催

2021夏休み

島根大学国際センターとつながる



2021年秋 垂水邸

空き家交流から生まれる関係人口
島根大学留学生と一緒に
空き家の障子張り

石材屋さんとのコラボ



空き家交流から生まれる関係人口
石灯笼を作ってホタルロードを
照らそう

2022年6月



空き家から生まれる関係人口
子どもが店主
子どもマーケット

2022, 10, 2

高齢者の情報発信力を高める スマホ教室

高齢者がインスタに伊野情報をどんどん上げるようになったら、伊野ってどんなところ？と注目を集めるじゃない？（講師：山中のえんさん）



高齢者には時間がある
地域をよく知っている
ワザや知識・経験がある

スマホを自在に扱えるようになれば

伊野の情報発信が飛躍的に高まる
応答関係が広がることで生きがい生まれる
安否確認もできる

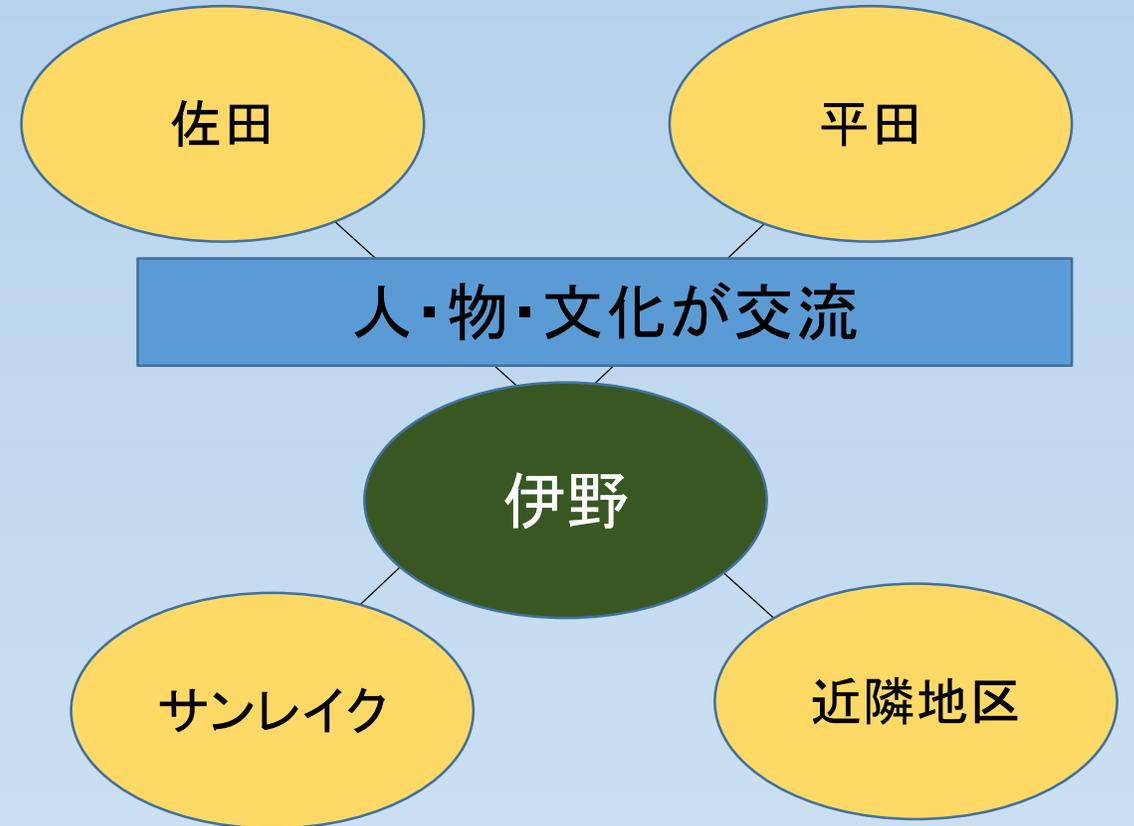
講師は山中のえんさん（関係人口）

関係人口づくり 地区外に出かける活動 —他所が求める関係人口になる—

お互いがどんな関係人口を求めているか



平田まちあそびイベント(2020)で木綿街道に4チーム参加



初めての脱穀作業
楽しいです！

関係人口の効果

新しい知見の獲得

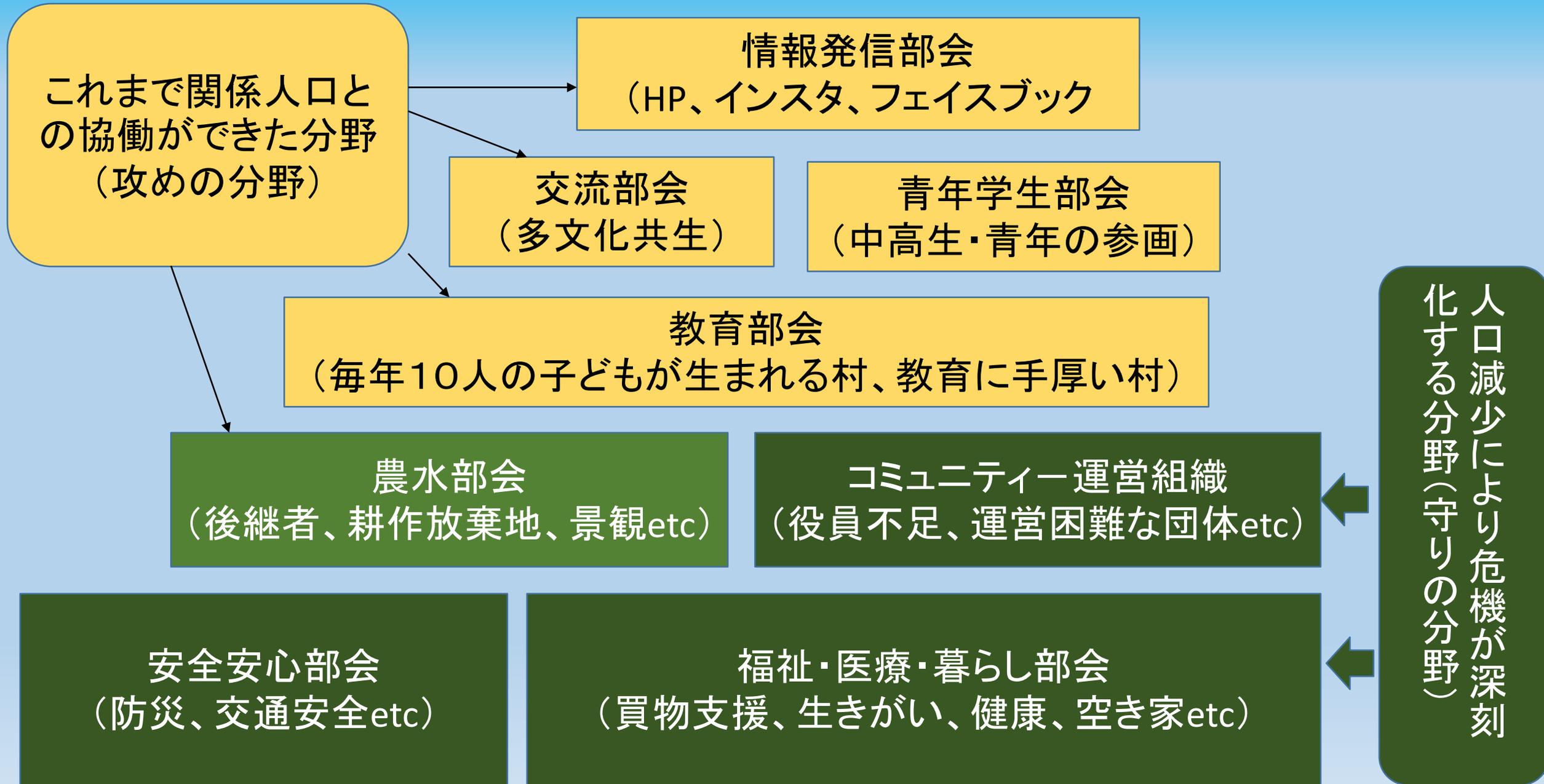
人脈の持ち込み

地区内関係性の変化

他者評価→自信と誇り



まちづくりに関係人口が関わる分野



関係人口 伊野の課題

何のために関係人口を求める？

伊野の将来ビジョン「やって未来来い！ENO暮らし2030」
2030年に伊野の住民1,000人と関係人口1,030人で新しいコミュニティをつくる
それって、どんなコミュニティ？

どんな関係人口を望むのか？
持続可能なコミュニティの検討

どんな関係を結ぶのか？
—役割、メンバーシップと権利その他—

関係人口の窓口は？
情報発信・受信の応答関係
コーディネート

だれが関係人口を増やすのか？
伊野地区住民の「関係人口」意識高揚
関係人口の皆さんの伊野理解を深める

関心が持続するためには？
関係人口の関心内容の把握
農と食、情報発信を活かす工夫

おしまい

ありがとうございました